

戦国漫画とともに関ヶ原合戦と戦国の舞台・大垣を探訪する!

岐阜県大垣市は、日本の東西を結び接点にあり、関ヶ原合戦で石田三成・島左近が本拠とした大垣城や徳川家康が本陣を置いた美濃赤坂、豊臣秀吉が出世の足掛かりとした墨俣一夜城など、関ヶ原合戦と戦国時代にゆかりのある場所が多くあります。そこで今回、戦国時代をテーマにした3つの漫画を大垣市内の3つの歴史施設で紹介し、それらを巡るスマホスタンプラリーを行うことで、戦国漫画と戦国観光が同時に楽しめるイベントを開催します。ぜひ大垣市にお越しいただき、3つの会場はもちろん周辺観光地もあわせてお立ち寄りください。

スタンプ 設置場所

大垣城

西美濃の要衝として戦国の群雄が駆け抜けた城。関ヶ原合戦では西軍・石田三成の本拠となり、決戦前日まで東軍と対峙しました。「おあむ物語」の舞台でもあります。

住所 大垣市郭町2丁目52番地
電話 0584-74-7875
時間 9:00~17:00
休館日 なし ●入場料100円

紹介作品:「花の慶次―雲のかなたに―」
原作:隆慶一郎 脚本:麻生未央 漫画:原哲夫

天下一の傾奇者・前田慶次を主人公とした戦国漫画を代表する作品。前田慶次や豊臣秀吉・直江兼続・伊達政宗など、個性的なキャラクターの等身大パネルが来場者を出迎えます。

大垣会場

岐阜大学旧早野邸 セミナーハウス

美濃赤坂は中山道の宿場町で、関ヶ原合戦の際には岐阜城を攻略した東軍先鋒が周辺一帯に布陣し、西軍と対峙しました。山に登れば岐阜城から関ヶ原まで見渡せます。

住所 大垣市昼飯町1777
電話 0584-71-0151
時間 10:00~16:00
休館日 日曜・月曜・祝日 ●入場無料

紹介作品:「義風堂々!!直江兼続〜前田慶次花語り〜」
原作:原哲夫・堀江信彦 作画:出口真人

「花の慶次」のスピノフ作品として、前田慶次の莫逆の友・直江兼続を主人公にした作品。作中で大々的に描いている関ヶ原合戦の一部を、複製原画約40枚とビジュアルパネルで紹介いたします。

赤坂会場

墨俣一夜城

織田信長が美濃攻略の足掛かりとした、豊臣秀吉出世物語の出発点。関ヶ原合戦の際には東軍の渡河に備えて島津義弘・豊久が墨俣に布陣しています。

住所 大垣市墨俣町墨俣1742番地1
電話 0584-62-3322
時間 9:00~17:00
休館日 月曜日 ●入場料200円

紹介作品:「いくさの子―織田三郎信長伝―」
原作:北原星望 漫画:原哲夫

戦国時代を代表する英雄・織田信長を、緻密な資料と斬新な視点で描く作品。織田信長、斎藤道三らを中心にストーリー構成し、複製原画約40枚と等身大パネルを展示します。

墨俣会場



いくさの子
織田三郎信長伝
©原哲夫・北原星望/NSP 2010

漫画×戦国×観光

義風堂々!!
直江兼続〜前田慶次花語り〜
©原哲夫・堀江信彦・出口真人/NSP 2014

スマホスタンプラリー 大垣2018 ガイドマップ

■とき 平成30年7月21日[土]~11月25日[日]
■ところ 岐阜県大垣市(大垣城・岐阜大学旧早野邸セミナーハウス・墨俣一夜城)

主催 大垣観光協会

参加するには「西美濃ワンダーGOスタンプラリー」の登録が必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

スマホスタンプラリー参加方法

旅行をもっと面白くする! スマホスタンプラリーサイト
西美濃ワンダーGO スマホスタンプラリー
にアクセスして登録するだけ!

登録

- 1 サイトアクセス
QRコード
- 2 参加登録
簡単登録(無料)でスタンプラリーに参加!
(注意)IDとパスワードは画面キャプチャやメールを保存するなどをして、大切に保管してください。
- 3 受信メールのURLにアクセス
表示されたURLにアクセスして、IDとパスワードを入力。ログインして、いざスタート!

さあ!スタンプを集めに出かけよう!

- 1 スタンプ設置場所へ行く
- 2 QRコードを読み取りアクセス
読み取り内容
http://n-wondergo.com/xxxxx/xx
xxxx/xxxx
- 3 スタンプが押されます
スタンプラリーについて
大垣城 墨俣一夜城 奥の細道むすびの地記念館
上石津郷土資料館 タルビゼンセンター 関ヶ原歴史民俗資料館

全部のスタンプが集まったら、「奥の細道むすびの地記念館」へGO!
受付で画面を提示すると、3つの戦国漫画いずれかのキャラクターグッズをプレゼントします。

■ゴール受付 場所 奥の細道むすびの地記念館1階受付
時間 9:00~17:00(平日・日祝日も)

■賞品 先着300名様(3種×各100個)なくなり次第終了

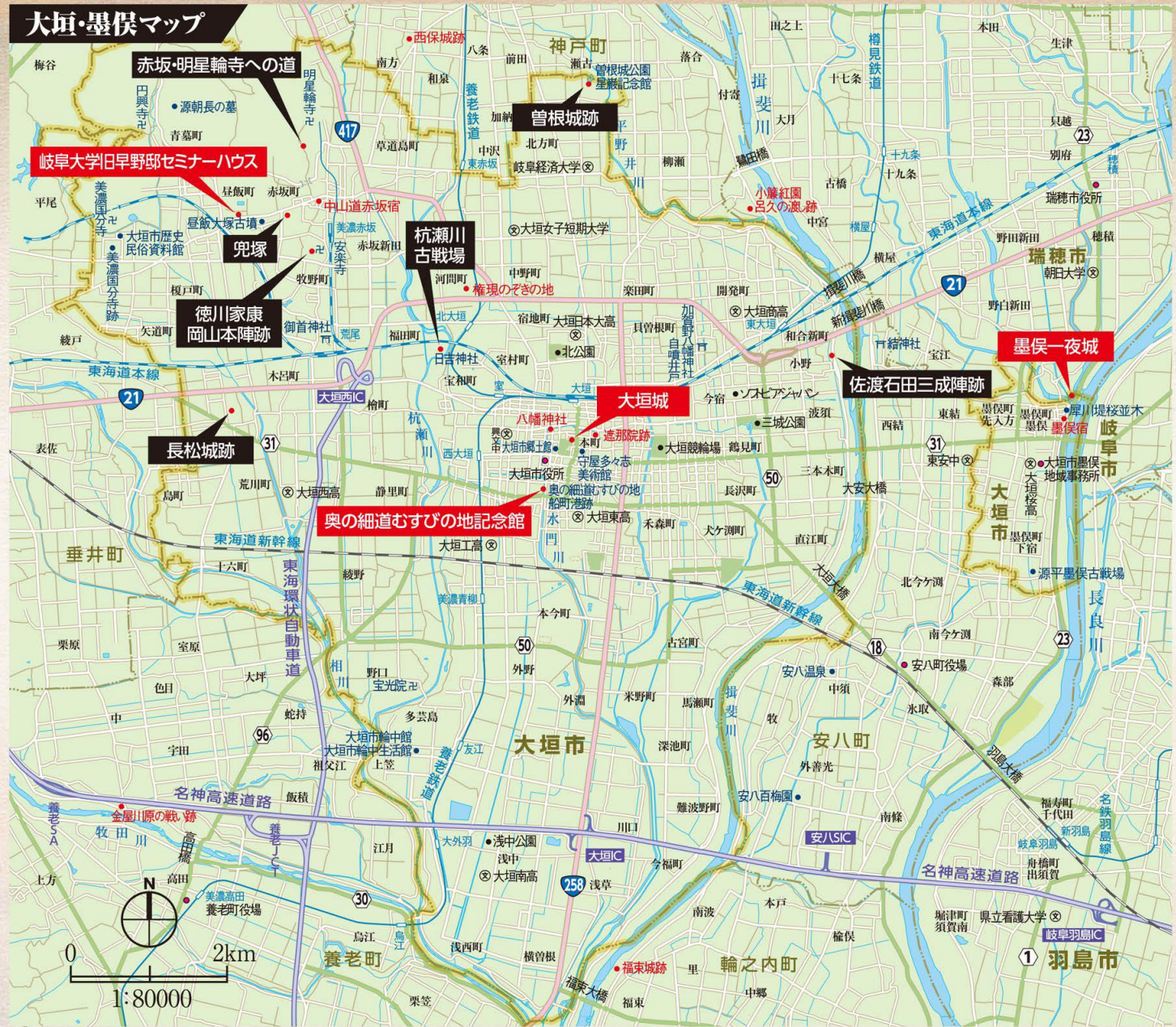
花の慶次 前田慶次 パステル
いくさの子 織田信長 パステル
義風堂々!! 月語りクリアファイル 2枚セット

主催 大垣観光協会 お問い合わせ 大垣観光協会 TEL.0584-77-1535
岐阜県大垣市船町2-26-1 奥の細道むすびの地記念館内



関ヶ原合戦と幻の大垣決戦

豊臣秀吉の死後、天下の覇権をねらう徳川家康と、それを阻止せんとする石田三成の争いは、全国の武将を巻き込み、天下分け目の大戦へと発展しました。家康が関東に出兵した際に挙兵した三成は、大垣城に進軍し本拠としましたが、東軍の動きが予想外に早く、東軍先鋒が岐阜城を攻略して赤坂に進出。大垣城の西軍と赤坂の東軍は3週間余りも対峙することになります。やがて家康が着陣すると、動揺する西軍の士気を高めるために島左近らが出陣、杭瀬川の戦いで東軍を破ります。誰もが大垣での決戦を予想しましたが、家康がそのまま西に向かうそぶりを見せたため、大垣城の西軍主力は先んじて関ヶ原に転進。大垣決戦は幻となりました。



9月23日	大垣城の相良頼房・秋月種長・高橋元種・熊谷直盛・垣内直木村由信らに殺して東軍に帰順する	9月17日	徳川家康、東軍諸将とともに関ヶ原に進軍する	9月15日	徳川家康、赤坂に着陣する	9月14日	徳川家康、赤坂に着陣する	9月7日	毛利秀元・吉川広家・長宗我部盛親・長束正家・伊勢から転進して南宮山に布陣する	9月3日	大谷吉継、越前から転進して関ヶ原に布陣する	9月1日	宇喜多秀家、伊勢から転進して大垣城に入る	8月28日	徳川家康、江戸城を出立し、上方に向かう	8月24日	武光棟忠、長松城を放棄	8月23日	池田輝政、米野で織田秀信を破る	8月22日	池田輝政、加賀野井重忠の加賀野井城・杉浦重勝の竹ヶ鼻城を落城させる	8月19日	石田三成、小西行長とともに大垣城を建て、佐渡に到着	8月16日	島津義弘、垂井から進軍して墨俣を守備	8月14日	徳永春昌、市橋長勝、高木盛兼の高須城を落城させる	8月14日	徳永春昌、市橋長勝、丸毛兼利の福東城を落城させる	8月11日	東軍先鋒、福島正則の清洲城に集結	8月11日	石田三成、伊藤盛正の大垣城に入る	8月11日	石田三成、東軍に与した西尾光教の曾根城打壊しを命じる
-------	---	-------	-----------------------	-------	--------------	-------	--------------	------	--	------	-----------------------	------	----------------------	-------	---------------------	-------	-------------	-------	-----------------	-------	-----------------------------------	-------	---------------------------	-------	--------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	------------------	-------	------------------	-------	----------------------------



杭瀬川古戦場

関ヶ原決戦の前日、大垣城を出陣した島左近・蒲生備中ら約500は、一隊を伏せて杭瀬川を渡り、東軍の中村一栄隊を挑発、出陣してきたところを偽りの退却で誘い込み、これを打ち破りました。現在の日吉神社から笠木・福田の一角が主戦場と思われるが、源氏大橋からの眺めがおすすめで、広大な河川敷越しに岡山(勝山)や赤坂を望み、往時を偲ばせます。

◆住所 大垣市笠木町・南一色町・福田町

兜塚

赤坂宿の西、廃線近くに小さな墳丘があります。杭瀬川の戦いで島左近の伏兵に遭い、深田に足をとられたところを討ち取られた、中村一栄隊の家老・野一色頼母助義が葬られた場所です。家臣の奮戦により首級は奪われることなく、亡骸はこの地に運ばれ、着用していた鎧兜とともに葬られたことから、「兜塚」と呼ばれるようになりました。

◆住所 大垣市赤坂町

徳川家康 岡山本陣跡

岡山は赤坂の南にある標高50mほどの小山上で、東軍の本多忠勝と井伊直政はここを徳川家康の本営に定め、砦を築いて周囲に諸将を配置しました。また、西軍の長松城・池尻城を占拠し、西保城・本郷城を焼くなどして、家康の到着を待ちました。関ヶ原合戦後、家康は岡山を勝山と改めています。山麓の安楽寺には大谷吉継の梵鐘もあります。

◆住所 大垣市赤坂町

長松城跡

関ヶ原合戦時の城主・武光棟忠は西軍に属し、福東城の丸毛兼利が東軍に攻められた際には救援に赴くなどしましたが、東軍が赤坂に進出するとその圧力に耐え切れず、城を放棄して桑名に退きました。その後は東軍の一柳直盛が入城し、大垣と垂井の連絡路を遮断したため、西軍が関ヶ原に転進する際に南に大きく迂回せざるをえませんでした。荒崎小学校の正門脇に案内板が建てられています。

◆住所 大垣市長松町789番地

赤坂・明星輪寺への道

美濃赤坂宿から山を登り、金生山化石館を過ぎて明星輪寺へと向かう道は、徳川家康本陣の岡山(勝山)を見下ろし、西軍主力が布陣した大垣城から、杭瀬川古戦場、長宗我部盛親が布陣した栗原山、毛利秀元が布陣した南宮山、そして関ヶ原までを一望できる絶景ポイントです。明星輪寺の境内からは岐阜城も望めます。

◆住所 大垣市赤坂町

おがきじょう 大垣城

美濃に進軍した石田三成は、西美濃の要衝・大垣城に着目し、城主の伊藤盛正を説得して開城させ、西軍の本営としました。小西行長・島津義弘・宇喜多秀家らも入城し、赤坂の東軍と対峙します。ところが、西軍主力は関ヶ原に転進。大垣城は三成の女婿の福原長堯らが守備することとなり、関ヶ原で西軍が敗れた後も、8日間にわたり戦いが続きました。このときの籠城戦と大垣城を逃れた様子を語ったのが「おあむ物語」で、大垣城本丸にはおあむが城から脱出する際、ここからたらいに乗り移ったという「おあむの松」もあります。

◆住所 大垣市郭町2丁目52番地
◆電話 0584-74-7875
◆時間 9:00~17:00(入館16:30まで)
◆休館日 年末年始
◆入場料 大人100円、18歳未満無料

そねじょうあと 曾根城跡

大垣城の北にある曾根城は西美濃三人衆の稲葉一鉄が創建した城で、関ヶ原合戦当時は西尾光教が城主でしたが、光教が東軍に与したため、石田三成は近隣諸將に打ち壊しを命じました。その後、東軍が赤坂に進出すると、松平康長・水野勝成らが入城し、大垣城攻撃の拠点となっています。現在、本丸跡は華溪寺となっており、曾根城公園はハナショウブで有名です。

◆住所 大垣市曾根町1丁目772番地
◆電話 0584-81-7535(華溪寺)

ざわたりいし だみつなりじんあと 佐渡石田三成陣跡

佐渡の常夜灯のあるあたりは、大垣城にいた石田三成が、清洲城の東軍が竹ヶ鼻城を攻めるとい報告を聞き、小西行長とともに城をでて布陣した場所です。その後、米野の戦いの敗退を受けて舞兵庫らを合渡川に派遣しましたが、岐阜城そして合渡川でも西軍が敗退したため、三成が先に大垣城に退却しようとしたところ、墨俣を守備していた島津義弘が承知せず、禍根を残しました。

◆住所 大垣市東町

すのまたいちやしじょう 墨俣一夜城

墨俣は、木下藤吉郎(のちの豊臣秀吉)が一夜にして砦を築き、織田信長の美濃攻略の足掛かりとなった墨俣一夜城で有名です。現在その地には、大垣城をモデルにした模擬天守が立ち、城内では秀吉の墨俣築城や墨俣宿の紹介などをしています。関ヶ原合戦の折には、石田三成の要請を受けた島津義弘・豊久が墨俣に布陣し、東軍に備えました。

◆住所 大垣市墨俣町墨俣1742番地
◆電話 0584-62-3322
◆時間 9:00~17:00
◆休館日 月曜日
◆入場料 大人200円、18歳未満無料